



# 彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部  
The Institution of Professional Engineers, Japan 埼玉県支部

こうほう・Vol.11.2018.4.1.

〒333-0844 川口市上青木 3-12-18 SKIP シティ A1-706B  
埼玉県支部事務局 Tel.:048-263-0840, Fax:048-263-0841  
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

## 目次

巻頭言	埼玉産業人クラブ 会長	増田文治
支部長挨拶	日本技術士会埼玉県支部長	増古恒夫
委員会活動紹介		
	総務企画委員会委員長	村山 肇
	CPD委員会委員長	白岩信裕
	科学技術振興委員会委員長	黒澤兵夫
	地域産業支援委員会委員長	近藤 孝
	地域活性化委員会委員長	穴戸富雄
平成 29 年度研究業績発表大会報告	CPD 委員会委員	浅見 薫
彩の国産業活性化交流会報告	地域産業支援委員長	近藤孝

## ★ 巻頭言 中小企業経営者の止まり木になる、埼玉産業人クラブ

埼玉産業人クラブ 会長 増田 文治

公益社団法人日本技術士会埼玉県支部並びに会員の皆様には日頃から埼玉産業人クラブの活動に御支援ご協力を頂いておりますことに、深く感謝申し上げます。

埼玉産業人クラブは昭和 39 年の創立以来、50 年以上にわたって培ってきた知的財産、人的ネットワーク、会員の英知を結集して、先進的な活動を展開しています。具体的には、講演会、セミナー、産学交流会、工場見学会、海外研修などを開催し、そのときどきの時流に応じた情報を提供すると同時に、とくに経営者同士の肌と肌の触れ合いを通じて、経営の研鑽を積んでいただく場となっています。全国に 22 組織を持ち総会員数は 1700 名以上になりますが、そのなかでも埼玉産業人クラブは最大の会員数を有する組織となっております。メンバーは主に中堅・中小企業の経営者、経営層で構成され、相互の親睦と経営者としての資質向上、そして事業の拡大を支援する活動を行っています。

さて、産業界を見渡すと、第四次産業革命として ICT の発達により、様々なモノの動きを逐一データ化し、そうしたビッグデータを、インターネット等を通じて集約した上で分析・活用することにより、

生産性の向上等に貢献しています。また、AI にビッグデータを与えることにより、複雑な判断を伴う機械制御が可能となり、様々な生産現場の解決に資することが期待されています。

一方、中小企業においては事業承継、技術の伝承、人手不足、働き方改革などの課題が山積しており、埼玉県においては主産業の自動車関連産業が大きく変化しようとしているなど、事業の再構築、イノベーションが求められています。さらに少子高齢化で縮小する国内市場を補完する海外市場の開拓が求められており、そのために様々な国際規格への準拠等の課題があります。

このような中で、当会会員企業のさらなる発展のために貴会及び会員の皆様の技術の専門家としてのサポートが一層重要になるかと思えます。引き続き御指導、御協力の程よろしくお願い申し上げます。



増田文治  
(埼玉産業人クラブ会長)

## ★ 支部長あいさつ

埼玉県支部 支部長 増古恒夫

平成29年度の本支部活動に関しましては関連する諸団体のご協力と会員皆さまのご努力により概ね順調な成果を出すことができました。この場をお借りし御礼申し上げます。

世の中が激しく変革する時期（経済・産業・技術）に入っていると考えられます。この変革期こそ技術士の真価を発揮するときです。埼玉県支部としては昨年の活動での課題等を反省し、引き続き以下重点事項を推進してゆくこととします。

- ・ 公益法人活動として行政、公的機関、大学等教育機関、産業界との交流・連携につきましては、昨年度県内各商工会議所・商工会連携への訪問、さいたま市主催の「Bizさいたま」に新規参加する等活発な活動を行うことができました。今期も、地域社会経済の発展に向け活動していくこととします。
- ・ 昨年度から3年間年間、埼玉県が中心になり「科学の甲子園」が開催されています。可能な範囲で支援・取組をしてゆきます。科学技術を通じた会

貢献活動、行政施策への協力及び提言並びに調査研究に引き続き取り組んでまいります。



埼玉県支部は発足以来 （増古恒夫支部長）

CPD（Continuing Professional Development）研修を充実してきました。昨年度は40時間以上のCPD行事が開催できました。多くの会員が質・量とも高いCPD研修ができるよう更に高い目標をもって取り組むことといたします。

埼玉県の全域におられる会員、特に企業内会員の活性化・活動の支援強化をしてゆきます。このためには各地域での活動をより強化してゆきます。

これらの取組・活動を推進するには皆さまのご理解・ご協力・ご支援が必要です。より多くの技術士が結集して埼玉県が「技術立県」として発展できるよう努力していきましょう。

## ★ 総務企画委員会活動紹介

総務企画委員長 村山 肇

平成29年度の役員改選から早2年目に入りました。総務企画委員会の業務内容は、埼玉県支部の活動が活発かつスムーズに行われますよう縁の下からサポートする部門です。具体的には

1. 事業実施：2か月に1回開催される役員会・幹部会議、年次大会等の運営管理。
2. 広報活動：広報誌や県支部リーフレットの発行、県支部ホームページの更新等維持管理。
3. 財務管理：県支部予算等の執行管理。
4. SKIP事務所の運営管理。
5. 統括本部との調整作業、等です。

平成30年度の前半は、新技術士歓迎会や年次大会等多くの行事が企画されています。

これらの事業活動がスムーズに遂行されるよう、そして最も大きな課題である「技術士の知名度」を上げるべく、努力する所存です。さらに今年度は埼玉産業人クラブや商工会議所・商工会との交流が深まる中、埼玉県支部への協賛団体の加入にも力を注いで行く予定です。

総務企画委員は、川口市のSKIPシティにある事務所において、火・木曜日の午後業務を遂行しています。現在総務企画委員のメンバーが6名と少なく、活動に支障をきたしております。このウイークデイの午後に総務企画委員として支援活動していた片を募集しています。編集後記に記載のE-Mail アドレス迄ご連絡ください。

## ★ CPD委員会活動報告

CPD委員長 白岩信裕

CPD 委員会は他委員会の協力を得つつ、平成29年度はCPD セミナー（講演会、見学会）を17回、技術士資格取得期会（対象：企業・機関、大学）を5回実施いたしました。

見学会は地域活性化委員会の主催で2回、講演会は支部単独開催に加え県内諸機関・団体の後援もしくは共催のもと15回開催し、参加者は延べ600名を超え、平成28年度に比べ増加いたしました。

CPD 受講時間は計45.5時間でした。

平成30年度は、セミナー参加者のアンケート回答等を参考にテーマを決め、見学会及び講演会を地域開催を含め15回、技術士資格取得期会を3回、CPD 受講時間は計45.5時間を計画しています。

技術士には公益活動、資質向上等を図る上で益々CPDの履修が求められています。従って委員会では、履修希望の方々に参加し易く有益になるよう行事の開催日と場所、内容を決めていきます。開催を土曜日午後にし、県内各地域及び企業内技術士の方々の参加を得るよう努めます。

但し昨年同様、見学会は見学先の事情を考慮し平日に開催する予定です。会員皆様からのご要望等は御時受付しておりますので、支部代表メールアドレス宛てにお寄せください。

参加申し込みは、支部ホームページで詳細を確認後、「本部行事予定ホームページ」から行えます。

現在CPD 委員会は13名の委員の構成です。活動と共にしていただける新規委員を募集中です（但し正会員の方、支部役員会での承認が必要です）ので、ご希望の方は支部代表メール宛てにご応募ください。



実施行事例（技術士試験合格者祝賀会）

## ★ 科学技術振興委員会活動報告

科学技術振興委員長 黒澤 兵夫

当委員会は若いメンバー中心の委員会です。理科教室/科学技術のイベントをとおり、若い人たち（小学生、中学生、高校生、大学生等）の科学/技術の大好きな生徒/学生や若手技術者の育成を図ると共に、地域に密着しました科学技術振興と社会貢献を目的に活動をしています。

1. 埼玉県産業教育フェア「光通信メロディーを作ろう！」

- ・期日：平成29年11月11日（土）、
- ・場所：ソニックシティホール、
- ・主催：埼玉県教育委員会、
- ・参加者 30名、
- ・内容：産学官連携に基づき、久喜工業高等学校の生徒（7名）さんを2日間（6時間）研修・指導し、光通信メロディーの理論・製作を理解して戴きました。当日、講師となり30名の来場者（小学生から大人）の製作指導を立派に行い、感謝をされました。教え方、話し方等大変よくできまし

2. 平成30年度活動予定

- ①8月初旬：女子高生/中学生の夏学2018国立女性教育会館
- ②10月中旬：埼玉県総合教育センター 公開料理教室「おもしろ理科実験」
- ③11月中旬：第29回埼玉県産業教育フェア  
場所 ソニックシティホール
- ④平成31年3月中旬：  
科学の甲子園埼玉大会  
場所 ソニックシティホール等



（埼玉県産業教育フェア）



## ★ 地域産業支援委員会報告

地域産業支援委員長 近藤 孝

地域産業支援委員会の重要なミッションは、「技術の力で地域の発展に貢献する」ことにあります。

平成 29 年度は“頼られる技術士”をスローガンに活動を続けて来ました。

### [1]社会貢献活動

大学・研究機関・金融機関との新しい産学官金連携の進め方を研究してまいりました。

埼玉大学様との連携の取組を強化しています。

### [2]地域産業支援活動

さいしんコラボ産学官様と共催の技術課題相談会を本年度は埼玉県各地で3回開催（越谷、埼玉新都心、川越）実施しました。

今年度は、商工会議所・商工会連携活動を新たにスタートさせ、県内を4地区に分けて担当技術士が商工会議所・商工会を定期訪問して、経営革新計画を含め技術問題にお困りの企業様のご要望にお応えできるよう体制整備をしました。

是非、技術士をご活用ください。

### [3]技術士紹介業務

さいしんビジネスアリーナ、BIZSAITAMA などなどに出席し、技術士活動の紹介、相談会を実施しました。

今年度は、新たな取り組みとして、諸団体、企業様に満足いただける技術士を紹介できるように、技術士対象の「コーチング体験研修」を2回実施しました。

引き続き皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



(彩の国ビジネスアリーナ 2018 出展)

## ★ 地域活性化委員会報告

地域活性化委員長 穴戸 富雄

平成 29 年度地域活性化委員会の諸活動に際し皆様方のご支援を頂き無事終了しました。

本年度は県内各地区（北部、西部、東部）で CPD 講演会（3 回）、見学会（2 回）を行いました。内容も IoT, AI 等情報系の講演会も企画しました。技術士以外のご参加も増え、これらの行事を通じて商工会議所・商工会様、地元企業様との交流ができ、

平成 29 年度 地域活性化委員会行事

地域へのご支援活動が進んで来たと思います。

当委員会の役務は、技術士一人ひとりが地元地域に密着し、地域社会に貢献する事です。

平成 30 年度も各地の特色に応じた各種企画を行い地域の皆様方と一緒に活動し地域に貢献したく思います。新年度もご指導、ご協力お願いいたします

主な行事	開催日時	講演テーマ	開催場所	講師（説明者）
1)CPD 講演会	H29/12/02	中小企業ものづくりへの IoT 活用について	ウエスタ川越	経産省、産総研
	H30/02/21	IT、IoT、AI 早わかりセミナー	越谷市中央市民会館	(支部)技術士
	H30/03/24	TQM をベースとした地域活性化支援のアプローチ	熊谷コミュニティセンター	(支部)技術士
2)見学会、等	H29/10/28	利根川東遷物語 (Part II) — 第2回目 —	行田～関宿 (研修バスツアー)	(支部)技術士
	H29/11/07	太平洋セメント(株) 熊谷工場見学会	太平洋セメント株式会社	見学会社
3)その他	H29/10/19	北部地域技術交流会 (地域産業支援委員会と共催)	ホテルガーデンパレス 熊谷	(支部)技術士



太平洋セメント(株)工場見学会  
〈北部主催〉 [H29/11/07]



企業向けIoT 活用講演会  
〈西部主催〉 [H29/12/02]



利根川東遷物語II (忍城)  
〈東部主催〉 [H29/10/28]

## ★ 平成29年度 技術士研究・業績発表大会 報告

### CPD委員会 浅見 薫

技術士研究・業績発表大会が、平成30年1月13日（土）、新都心ビジネス交流プラザにて52名参加のもと開催されました。

村山肇総務企画委員長の司会のもと、増古恒夫支部長の開会挨拶の後、発表は5名の方により行われました。いずれの発表も、参加者の見識を広めかつ技術士活動に大いに参考となるものでした。白岩信裕CPD委員長の閉会挨拶後、隣の会場にて新年会が催され、発表者を囲み和やかな雰囲気の中参加者の相互交流、親睦が図られました。

5名の方の発表は以下のとおりです。

発表1. 「難弱な地盤と、その対策」埼玉県北本県土整備事務所河川担当課長 宇高薫氏（建設／総監）

土木技術者が構造物等を計画する際に、「地盤リスク」（地盤に関する不確かさに起因する影響）を考慮することにより、将来無視し得ないリスクを回避し、事業費を抑制できる可能性がある。特に軟弱な地盤が堆積して問題がある埼玉県下における実施事例等を通して、沈下や液状化などの「地盤リスク」を適切に評価することにより、現場に見合った経済的かつ合理的な対策工法を選定することができることなどを話された。

発表2. 「建設業における女性技術者の参入に関する一考察」東洋大学理工学部都市環境デザイン学科教授 鈴木信行氏（建設／総監）

「施工技術とマネジメント技術は車の両輪のごとく機能する」とされており、モノづくり技術を支える人づくり、組織づくりというソフト技術が重要である。我が国の生産年齢人口が減少している中、建設業への女性の参入比率が少ないことは問題である。テキスト・マイニング手法で建設関係企業に勤務する女性技術者の意識を分析すると結婚や子育て後に復帰することを危惧していることが分かる。人材の多様性の確保のため、このような分析結果などを踏まえ、女性技術者の労働環境の改善・雇用促進を図るべきであると述べられた。

発表3. 「1990年代マレーシア「粉末冶金工場建設」と生活そして今」村山技術士事務所代表 村山肇氏（金属）

1980年代後半に東南アジア各国が現地進出企業に対し「部品類の現地調達率を高める」ことを義務付けるようになってきたことから、発表者が勤務

していた三菱金属（現三菱マテリアル）も東南アジア地域への「粉末冶金工場建設」の方針を打ち出し、その建設準備室長として工場建設先をマレーシアに決めた理由、現地 DAIMET LANG 社長」として投資資金抑制の中、用地取得場所の選定、建設の現地企業への委託、従業員の採用等で苦労されたことや当時のマレーシアでの生活事情などについて話された。

発表4. 「ベトナムの酪農技術の発展」森山獣医師・技術士事務所代表 森山浩光氏（農業）

ベトナムは近年経済成長が著しく牛乳乳製品の消費が拡大し、それに伴って乳牛飼養頭数及び生乳生産量も増加している。政府は2008年に「酪農開発計画2020」を発表し、農家に加え乳業企業による大規模牧場による目標頭数達成を示した。発表者は、JICA 専門家として技術的支援・協力活動を実施してきた経験を踏まえて、乳牛の育種改良、飼養管理やTMR 飼料（サイレージと配合飼料の混合）の普及等技術改善など、ベトナム酪農技術の発展の支援動向と課題について話された。

発表5. 「農林水産業におけるドローン（農薬散布での対応）について」三菱商事株式会社顧問 小風茂氏（農業／総監）

航空法の改正により、ドローンとともに無人ヘリコプターも無人航空機として新たな規制対象とされたことから、発表者が農林水産省消費・安全局長の頃に現場での病害虫防除作業が円滑かつ安全に行われるように、様々な対策を講じた内容を、総合技術監理部門の技術士としてマネジメントすべき経済性管理等5つの管理項目に区分して説明された。具体的には、ドローン等の小型無人航空機の特性を考慮した上で「技術指導指針」を改正することにより、ドローン等による農薬の空中散布が開始されたことや今後の課題などについて話された。



（新年会参加者一同）

## ★ 第4回彩の国活性化交流会報告

地域活産業支援委員会 近藤 孝

日本技術士会埼玉県支部の2大イベントの1つである「第4回彩の国産業活性化交流会」を開催しましたので報告します。

この交流会は、県内中小企業等への支援を目的にほぼ毎年開催しているもので、行政、支援機関、企業、技術士が行政施策、支援事例等を発表し、互いに意見を交わして産業活性化の道筋をさぐる交流会です。今年度は、下記日程とプログラムで行いました。

テーマ ～ニーズとシーズのマッチング～

開催日時 平成30年2月24日(土)

会場 新都心ビジネス交流プラザ

プログラム

講演1. 経済産業省における中小企業等支援施策について

関東経済産業局地域経済部地域振興課

係長 有川竜太氏

講演2. 埼玉県の中小企業支援施策について

埼玉県産業労働部産業支援課

課長 増田文之氏

講演3. さいたま市産業創造財団が推進するオープンイノベーション

公益財団法人さいたま市産業創造財団

支援・金融課 課長 佐々木 哲也氏

講演4. 「地方創生のための事業プロデューサー派遣事業」の取り組み  
特許庁委託事業プロデューサー

鈴木康之氏

事例報告1. モノ・づくり企業の課題(ニーズ)にフィットさせる技術(シーズ)とは?

埼玉県支部会員技術士 橋本 隆氏

事例報告2. 産学官による事業支援の支援事例

株式会社テクニカルアーツ社

取締役工場長 渡部 祐介氏

埼玉県支部会員技術士 渡辺 孫也氏

講演では経済産業省と埼玉県の幅広い中小企業支援施策、さいたま市産業創造財団の特色あるオープンイノベーションの取組、開放特許展開の特許庁事業、企業様と技術士のニーズとシーズのマッチング事例と盛り沢山の内容が時間一杯報告され、参加者は熱心に聴講し、質疑応答の時間がないほどでした。その後の懇親会においても、参加者は更に交流を深めることができました。



(講演の様子)

### 編集後記

こうほう「彩の技術士」は第11号になりました。記事内容の充実を目指し、第8号より増頁を行なった結果、各委員会の活動内容を詳細に報告できるようになりました。本号には、その他「コーチング体験研修」報告も投稿していただきましたが、スペースの関係で掲載できませんでした。次号に掲載いたします。

掲載内容について皆様のご意見を聞かせてください。

[総務企画委員会]

おくづけ 公益社団法人日本技術士会埼玉県支部  
こうほう・彩の技術士 第11号  
発行年月日 平成30年4月11日  
発行所 埼玉県支部  
E-mail saitama@engineer.or.jp  
編集 総務企画委員会